

小樽市長

迫 俊 哉 様

# 提 案 書

北海道新幹線、新小樽（仮称）駅のデザイン案について

独立行政法人

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

北海道新幹線建設局

## 北海道新幹線 新小樽（仮称）駅

### 駅舎デザインに関する要望書に基づく駅舎デザインの提案について

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設につきましては、平素より特段のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

鉄道・運輸機構は、小樽市民をはじめ多くの皆様の期待を受け、一日も早い完成を目指し、鋭意工事を進めております。

さて、新小樽（仮称）駅の駅舎デザインにつきましては、小樽市長より昨年5月18日に「北海道新幹線 新小樽（仮称）駅 駅舎デザインに関する要望書」によりご要望をいただいております。この度、そのご要望に沿って、3つのデザイン案を作成致しましたので、ご検討いただきますようお願い致します。

令和 5年10月20日

独立行政法人  
鉄道建設・運輸施設整備支援機構  
北海道新幹線建設局長

長谷川 正明

北海道新幹線 新小樽（仮称）駅 デザイン要望書 基本コンセプト

## 浪漫が薫る 温もりと心地よさを感じる駅 ～まちの記憶を未来へ～

新小樽（仮称）駅デザイン案【A案】

「歴史の継承

～小樽の歴史と懐かしさを後世に受け継ぐ品格のある駅～」



- ・北日本随一の商都として栄えた小樽の街並みに相応しい趣きのある外観デザインとしています。
- ・ガラス越しに見える屋根を支える構造材はアーチをモチーフとしており、小樽の街並みを思い起こさせます。
- ・歴史的な建物にも多く用いられた鉄や金属、石を用いて落ち着いた感じのある駅舎をつくり上げます。

注：A、B、Cについては、順位を示すものではありません。

北海道新幹線 新小樽（仮称）駅 デザイン要望書 基本コンセプト

## 浪漫が薫る 温もりと心地よさを感じる駅 ～まちの記憶を未来へ～

新小樽（仮称）駅デザイン案【B案】

「新旧の融合

～小樽のまちの記憶を継承し、未来へ繋ぐ端正なたたずまいの駅～」



- ・海運で栄えた小樽の帆船をイメージした歴史性のある外観デザインとしています。
- ・1階には小樽の歴史を感じさせるレンガを、上部には未来感のあるガラスを用いることで、過去と未来をつなぐ象徴を表現しています。
- ・上層部を大きなガラススクリーンとすることで開放感のある、周囲に開かれた駅舎となります。

注：A、B、Cについては、順位を示すものではありません。

## 浪漫が薫る 温もりと心地よさを感じる駅 ～まちの記憶を未来へ～

### 新小樽（仮称）駅デザイン案【C案】

#### 「自然と温もり

～自然に溶け込み、小樽のまちに明かりを灯す洗練された温もりの駅～



- ・周辺の自然環境に溶け込むように水すだれをイメージした外観デザインとしています。
- ・ガラス窓をランダムに配置することで、日が落ちると夜景に彩りをそえる小さな灯りを集めた外装へと姿を変え、まちに温もりを与えます。
- ・金属質で落ち着いた色味の外装材を纏うことで、周囲の風景や季節、時間帯ごとの変化に溶け込むようなデザインとしています。

注：A、B、Cについては、順位を示すものではありません。